

①バドミントン競技の人数制限について

- 選手・監督等・役員 →◎
- 補助員（指定された学校）→◎
- 部員 →○チーム5名まで
- 保護者 →○エントリー1名につき1名
- 生徒・一般 →×
- 記録・報道・写真業者 →○2名まで

②バドミントン競技独自の感染対策について

①に示す人数制限を行うために、目に見える形式を設定する必要があるとの声がありました。そこで今大会は九州大会や全国大会で行われている「IDカード」による入場制限を行います。各チームには県高体連に申し込みしている内容に従い、「監督・引率者・コーチ」、「選手（マネージャーを含む）」、「部員（+補助員）」、「保護者」、「役員（学校長など）・記録・報道」の5種類の首掛け型のIDカード（色別）を渡します。該当者は試合及び練習以外は必ずIDカードを付けるようにして下さい。なお、IDカードがない部員・保護者が館内にいた場合は退館を求めます。各学校の監督の先生方はIDカードがない人が館内にいた場合は速やかに本部にお知らせ下さい。この件に関しては一校でも協力しないと感染対策になりませんので必ず行って下さい。

（例）監督・コーチ（2名）+部員・マネージャー（7名+1名）+部員（5名）+保護者（7名）+記録（1名）=23名 ←この23名分のIDカードを渡す。

（小浜体育館） 23名×16チーム=368名

（霊丘公園体育館） 23名×19チーム=437名

（島原復興アリーナ） 23名×36チーム=828名

※「IDカード」は団体戦の前日または当日の入場時に監督の先生に渡します（個人戦のみの学校は個人戦当日です）。団体戦が行われる会場の方に準備しますので、受け取り場所が異なる学校は事前にお知らせ下さい。※宿泊場所等での受け渡しも可能にします。

③その他の感染対策

（1）各チームに除菌スプレー1本（2会場に分かれる学校は2本）の持参を求めます。雑巾は本部で用意しますので渡します。各チームが使用した場所の除菌を行ってください。

（2）会場によっては観客席の場所指定をします。指定された場所からの移動は行わないで下さい。また、小浜体育館は保護者待機用に会議室等を用意して、部員等との接触が少なくなるように工夫します。

（3）換気時間を設定します。回戦が終わるごとに換気をするのが理想ですが、タイムテーブルの関係上、試合を途中で止めて行わざるを得ない場合が想定されます。この例としては、個人戦の2日目・3日目の午前中の試合で、目安としては2時間ごとに10分間の換気時間は必要であると考えています。

なお、県春季大会では換気のためにドアを開けているものを、勝手に「閉める」極めて残念な学校がありました。生徒の安全が最優先です。改めて感染対策に協力を要請します。

（4）使用コートの設定については、コートを開けて試合を場合があります。

（5）団体戦の審判については、先のお知らせのように初回戦は相互審判となっておりますが、二回目についても入場人数の状況のみで、相互審判とする場合があります（敗戦校の退館を早める必要があると考えられる場合です）。